

米国の反転攻勢及び新自由主義との対決を再確認した第 25 回サンパウロ・フォーラム

第 25 回サンパウロ・フォーラムが、ベネズエラの首都カラカス市で、7 月 25 日～28 日間開催されました。会議には、192 の共産党、革新党、市民運動の代表 700 名余が参加しました。

参加した政党、組織

アルゼンチンからはアルゼンチン共産党、社会党など 12 組織が、ボリビアからは社会主義



運動、ボリビア共産党など 3 組織が、ブラジルからは労働党、ブラジルの共産党、ブラジル共産党、ブラジル社会党、社会主義人民党など 7 組織が、チリからは共産党、社会党など 12 組織が、コロンビアからはコロンビア共産党、代替民主主義勢力、祖国前進など 8 組織が、コスタリカからはコスタリカ共産党、拡大戦線の 2 組織が、キューバからはキューバ共産党が、エクアドルからは祖国同盟、エクアドル共産党、

エクアドル・マルクス・レーニン主義共産党など 8 組織が、エルサルバドルからはファラブンド・マルティ民族解放戦線が、グアテマラからはグアテマラ民族革命同盟など 3 組織が、ホンジュラスからは自由再建党が、メキシコからは民主革命党、民族再生運動 (MORENA) など 3 組織が、ニカラグアからはサンディニスタ民族解放戦線が、パナマからは人民党、民主革命党など 3 組織が、パラグアイからはグアス戦線、パラグアイ共産党など 8 組織が、ペルーからはペルー共産党赤い祖国、ペルー共産党など 10 組織が、ドミニカ共和国からはドミニカ解放党、現代革命党など 10 組織が、ウルグアイからは拡大戦線、ウルグアイ共産党、ウルグアイ社会党など 13 組織が、ベネズエラからはベネズエラ共産党、ベネズエラ社会主義統一党、みんなのための祖国、社会主義連盟など 5 組織が参加しました。また、アルバ、バルバドス、キュラソー、マルティニク、ハイチ、プエルトリコ、トリニダード・トバゴのカリブ海諸国の政党も参加しました。

フォーラムには、各政党、社会組織の代表の他に、ネルソン・マンデラ、サルバドル・アジェンデの孫、キューバのディアス＝カネル大統領、マドゥーロ大統領、ベネズエラ社会主義統一党副党首のディオスダート・カベージョ、アダン・チャベス在キューバ・ベネズエラ大使なども参加しました。

サンパウロ・フォーラム加盟政党が与党となっている国々

サンパウロ・フォーラム (以下、FSP と略) 参加の左派政党が政権を担っている国は、数年前には 12 カ国ありましたが、米国やそれと提携した国内の寡頭制支配勢力の反撃を受け、

ブラジル、アルゼンチン、チリ、エクアドル、エルサルバドルの 5 カ国で左派政権が失われました。しかし、昨年メキシコで国家再生運動（MORENA）を基盤とするロペス・オブラドール革新政権が誕生し、今年 5 月にはパナマで民主革命党の中道左派、ラウレンティノー・コルティエソ候補が大統領選で勝利を収めました。現在、左派政権は、ボリビア、キューバ、ドミニカ共和国、パナマ、メキシコ、ニカラグア、ウルグアイ、ベネズエラの 8 カ国です（下記表 1 を参照）。さらに、ALBA-TCP（米州諸国民ポリーバル同盟、下記表 2 参照）加えると、対米自立、新自由主義反対の国は、15 カ国に上ります。これは、ラテンアメリカ 33 カ国のうち、45%を占めます。こうした左派勢力、対米自立、新自由主義反対勢力が見られる地域は、世界でもまれなことです。それゆえ、これらの国々にトランプ政権の攻撃が集中しているのです。

また、6 月のグアテマラの大統領選挙の投票では、社会民主主義党の全国希望統一党（UNE）のサンドラ・トレス女性候補が一次投票で首位となり、8 月決選投票に臨みました。トレス候補は、善戦しましたが、低い投票率や右派の巻き返しと広範な不正投票により、右派の前進党のアレハンドロ・ジアマテイ候補が勝利しました。

しかし、アルゼンチンでは今年 10 月に大統領選挙が行われますが、8 月の予備選挙では、中道左派の「みんなのための戦線（共産党、非妥協党などの FSP 加盟党が正義党とともに形成）のアルベルト・フェルナンデス（大統領候補）とクリスティーナ・フェルナンデス（副大統領候補）が、現職のマウリシオ・マクリ候補に 15.1 ポイントの大差をつけて勝利しました。各種世論調査でも「みんなのための戦線」の優勢が伝えられています。

FSP で何が議論されたか

現在、ラテンアメリカ・カリブ海地域では、左派勢力、対米自立勢力、反新自由主義勢力の進出を抑えるため、アメリカ帝国主義とそれに同盟する国内の寡頭制支配勢力による反転攻勢が熾烈に展開されています。本年に入り、トランプ政権によるキューバ、ベネズエラ、ニカラグアへの経済封鎖・制裁の強化、左派勢力への切り崩しが猛烈に進められています。そのため、FSP の今回のテーマの中心課題は、米州各地で見られるアメリカ帝国主義とその同盟である右翼寡頭制支配による多様な反転攻勢とどう対処するか、それに関連して覇権主義的マスコミと同盟した司法権力を通じた、人気政治家の迫害とどう闘うかという問題が提起されました。そこから、「ルーラを自由に」のスローガンが各分科会で繰り返し取り上げられました。また、反転攻勢の激化に対抗するため、左翼、革新勢力の団結の強化の必要性が指摘されました。フォーラムでは、反帝国主義闘争における労働者の権力、女性、先住民、ベネズエラに対する人道的罪、革命の成果、ベネズエラに対する戦争の記憶、人民権力による封鎖の克服の経験、医療計画、住宅、ベネズエラにおける並行ドルの経済的影響、都



市農業のテーマが話し合われました。

国際連帯の原則の確認

FSP は、連帯の中心課題として、国民が現実の政治的主人公として、われらがアメリカの主権、独立、民主主義、民族自決権、人権を擁護するため、反帝国主義、反自由主義的団結の推進を擁護すると、原則的立場を明確に述べています。また、新自由主義帝国主義の攻勢、新自由主義の強化・再導入を打ち破ることを強く訴えています。さらに、右派の地域統合解体計画にたいして、われわれの地域統合、主権を擁護し、米国により推進されている自由貿易協定に対決して、南米・カリブ海共同体（CELAC）、ボリーバル的統合（ALBA-TCP）、南米南部共同市場などの主権の擁護に立つ統合計画を進めること、ラテンアメリカ・カリブ海地域非核平和地帯が再確認されています。

10月大統領選挙での立候補者の支持

10月に実施されるアルゼンチン、ウルグアイ、ボリビアの大統領選挙では、アルゼンチンのアルベルト・フェルナンデス＝クリスティーナ・フェルナンデス候補、ウルグアイのダニエル・マルティネス＝グラシエラ・ビジュアル候補、ボリビアのエボ・モラーレス＝アルバロ・ガルシア・リネーラ候補（いずれも正副候補）への支持が表明されました。

ベネズエラ、マドゥーロ政権への全面的支持

米国によるベネズエラ掲載に対する新たな制裁が非難されるとともに、2018年5月20日に選出された正当なベネズエラ政府とボリーバル革命計画への支持、米国政府の一方的な侵略政策の拒否、国内対話の必要性が強調されました。グロリア・ラ・リバ米国社会主義解放党の幹部は、「ベネズエラに対する新たな米国の脅迫に反撃しなければならない。米国政府の戦略は、フアン・グアイドーと反政府派による自己宣言劇の失敗の後、戦争政策が基本となっている。しかし、国民とベネズエラ社会主義統一党の指導部の高い政治意識により、経済・社会的封鎖に耐えることができている。あなたがたは、革命、その目標、目的があるが、私たちの目標は、帝国主義を終わらせることである。私たちの最も重要な責任は政府や、民主党、共和党と闘うことだけではなく、資本主義制度とも闘うことである」と訴えました。



グロリア・ラ・リバ氏

モニカ・バリエンテ FSP 執行書記長（ブラジル労働党国際関係書記）が基調報告を行い、ボリーバル革命の成果、住宅計画、先住民文化の尊重、エコ社会主義の成果を高く評価しました。また、バリエンテ書記長は、FSP 加盟組織は米国によるキューバ封鎖、一方的な制裁の強化を一致して拒否すると報告しました。

バリエンテ書記長は、グレイシ・ホフマン、ブラジル労働党党首のメッセージを紹介しました。メッセージは、FSP の歴史を振り返り、FSP の加盟組織の指導者に対するマスコミの操作、攻撃が行われていることを非難しました。



バリエンテ書記長

バチエレ報告への非難

ビクトル・ガウテ、キューバ代表団長（キューバ共産党中央委員）は、ベネズエラの偉大な祖国戦線を構成する諸政党の闘いは、20 年間にわたりボリーバル革命を支えてきたと強調しました。ベネズエラにおける人権侵害疑惑についてのミチエレ・バチエレ報告にたいして、「ベネズエラ政府は、70 カ所の問題点を一週間後に発表し、国連人権高等弁務官事務所に、同報告の誤りを修正すること、英語による改定版の発行をしないように要請した。ベネズエラ外相は、報告を検討した後、いくつかの誤りがあること、引用源が適切でなく、公的資料が使用されていないこと、バチエレ氏の訪問の調査結果が省かれていること、報告で行われているインタビューの82%は国外でおこなわれていること、また、報告は、米国政府による経済封鎖の国民生活への影響を省いていること」を厳しく非難しました。



ピエダード・コルドバ上院議員

米国のキューバ経済封鎖強化に反対

キューバのミゲル・ディアス＝カネル大統領は、「帝国主義政府は、キューバに対する石油の供給を妨害するためにこれまでになく攻撃的行動を開始している。2019 年 4 月までの 1 年間で経済封鎖による被害は 43 億 4,300 万ドルに上った。しかし、キューバは、米国との良識ある関係を築くことをあきらめてはいない」と、米国の経済封鎖の強化を非難しました。

左派勢力の団結の強調

ディオスダド・カベージョ、ベネズエラ社会主義統一党の第一副議長は、革新政権の一掃をもくろむ帝国主義の攻撃に対抗するために、世界の左派勢力の団結を維持する必要性を強調しました。

キューバのミゲル・ディアス＝カネル大統領は、アメリカ帝国の利害に従わないすべての国に対する攻勢に対して、左翼勢力の団結を強化する場として、FSP が重要な意味をもっていることを強調しました。また、「アメリカ帝国は、われわれを打破するために、われわれを分

裂させようとしている。その意味で、米国政府は、キューバ、ベネズエラ、ニカラグアに対する抑圧的、侵略的な行動が激化している。キューバ、ベネズエラ、ニカラグアに対して、また帝国の目的を受け入れることを拒否する国に対する包囲をますます狭めている」と警告



しました。

こうした重要な会議が、わが国ではまったく報道されていないのは残念なことです。当然のことですが、ラテンアメリカ・カリブ海地域では、保守系のメディアも含めて、広く報道されています。ラテンアメリカ・カリブ海地域にこうした革新的な潮流があることを見ようとしないことは、その報道機関の資質そのものが問われる問

題です。

FSP 最終宣言の内容

FSP は、最終宣言として「第 25 回サンパウロ・フォーラム最終宣言：帝国主義とたたかう諸国民の団結をめざして」を採択しました。その要点は、次の通りです。

- ハバナでの前回の会議*後 1 年が経過したが、アメリカ帝国主義とその同盟である寡頭制支配勢力による多様な反動攻勢は、より激化している。
 - *ハバナ会議については、拙稿「第 24 回サンパウロ・フォーラム開催される」(2018 年 7 月 25 日参照)
- しかし、同時に、メキシコ、ベネズエラ、ニカラグア、プエルトリコでは、重要な闘いが行われ、勝利がもたらされ、帝国主義の攻勢を押しとどめている。
- 資産、権力、富の小数の特権階層への集中にもかかわらず、社会的抗議が成長している。その中で、左翼・人民・革新勢力は、反新自由主義の政策を提起している。
- 国際的な右派勢力は、反乱計画を引き続き適用し、われわれの国民国家を分断し弱体化させようとしている。そして非資本主義、ポスト新自由主義の道による社会変革の計画を非現実的なものにしようとしている。またわれわれの社会的団結をもたらしている民族的同一性、文化的価値観を破壊しようとしている。
- 右派の地域統合解体計画に対して、われわれの地域統合、主権を擁護し、米国により推進されている自由貿易協定に対決して、南米・カリブ海共同体 (CELAC)、ボリーバル的統合 (ALBA-TCP*)、南米南部共同市場などの主権の擁護に立つ統合計画を進める。
- ヤンキー帝国、金融多国籍資本主義の典型的な表れであるトランプ政権の政策であるモンロー主義、干渉主義に、われわれは団結して闘う。
 - *2006 年には、ALBA 加盟国、ベネズエラ、キューバ、ボリビア三カ国により、連帯的、対等平等、相互補完的貿易をめざして、諸国民貿易条約 (TCP) が締結されました。
- 1959 年以來のキューバ革命、ボリーバル革命、ボリビア及びサンデニスタ・ニカラグ

アの成果は、いかなる帝国の攻勢にも打ち勝つことは可能であることを示している。

- みんなのための正義、社会的解放、全面的な政治的主権、経済的独立のための闘いを強化しよう。
- 引き続き、広範な反帝国主義、反新自由主義の団結を実現し、左翼の政党、組織、革新勢力、社会運動の多様性を尊重し、帝国主義の攻勢、新自由主義の強化・再導入を打ち破ろう。
- そのため、FSP は、トランプ政権の侵略的、無責任な行動に対して、平和、民主主義、社会的成果の擁護のために国際的運動を緊急に強化するよう呼びかける。
- ベネズエラ国民の主権、民族自決権、平和共存を擁護して世界の広範な連帯を推進することを呼びかける。
- 合法的なマドゥーロ大統領により推進されている野党との対話を支持する。これは、ベネズエラにおける民主主義と自由を表すものであり、立憲的、平和的、外国の干渉なしで立場の相違を解決するものである。
- 米国によるベネズエラに対する軍事干渉の脅迫、経済・金融・貿易封鎖、外交的包囲を非難する。ベネズエラにおける平和は、地域の平和であり、FSP 加盟の政党の優先的課題である。
- 第 23 回 FSP、第 24 回 FSP で承認された大義を再確認する。
- したがって第 2 回 CELAC 首脳会議で承認されたラテンアメリカ・カリブ海地域非核平和地帯を共通の目標とする。
- CELAC を擁護する。
- カリブ海、大西洋における米国及び NATO の危険な軍事的プレゼンスを非難する。
- 米国のモンロー主義、裏庭概念を拒否する。
- ラテンアメリカ・カリブ海におけるアメリカ帝国主義の支配と対決する行動を展開する。
- ルイス・アルマグロに代表される、米州機構が米国に従属し干渉主義的役割を果たしていることを非難する。
- 米国に従わない国々への米国が行っている非通常戦争を非難する。
- ブラジルのボルソナーロ、コロンビアのイバン・ドゥーケ、パラグアイのマリオ・アブド・ベニーテス、アルゼンチンのマウリシオ・マクリ、エクアドルのレニン・モレーノ、ホンジュラスのフアン・オルナンド・エルナンデスのような新自由主義が復活した、権威主義的な、親ファシズム政府に見られる右翼の前進に対して、全力で対決する。
- ホンジュラスで、自由党が主導している新自由主義、汚職の政治と闘っているホンジュラス国民を支持する。
- コロンビアの極右政権による社会運動に対する弾圧を非難する。
- コロンビア政府が和平協定を遵守するように要請するとともに、FARC（コロンビア革命軍）が和平協定を擁護していることを支持する。平和を実現するために、政府が、直ちに ELN（民族解放軍）と和平交渉を再開するよう要求する。



- 米国が、クーデターによりニカラグアのサンディニスタ革命に干渉していることを非難する。米国の経済制裁によっては、サンディニスタ国民は打倒されない。
- 米国に指示され、国内で右翼の攻撃、復讐を受けているファラブンド・マルティ民族解放戦線との連帯を強く推進する。ルーラ（元ブラジル大統領）、グラス（エクアドル前副大統領）への人権の侵害、アルゼンチンのクリスティーナ・フェルナンデス、エクアドルのラファエル・コレア、リカルド・パティエーニョに対する法的迫害を非難するとともに釈放を要求する。
- ボリビアのエボ・モラーレス、アルバロ・ガルシア・リネーラの正副大統領出馬を支持する。
- ウルグアイ大統領選でのダニエル・マルティネス大統領候補とグラシエラ・ビジャル副大統領候補の選出を支持する*。
 *FPC 決議では、支持が決議されたが、その後ダニエル・マルティネスとグラシエラ・ビジャルは、前大統領のホセ・ムヒカとともに、ベネズエラ政府を批判し、現在拡大戦線内で調整が図られています。
- アルゼンチンの大統領選挙において「みんなのための戦線」から立候補するアルベルト・フェルナンデス大統領候補、クリスティーナ・フェルナンデス副大統領候補を支持する。
- 米国政府が、中米で移民者を犯罪者扱いすることに反対する。米国とグアテマラ政府が締結した移民協定は、グアテマラの主権を侵害し、米国に移住を希望する者を事実上収監するものである。
- 大多数の国民が参加して勝利したロペス・オブラドール政権を支持する。これは、革新勢力サイクルが終わっていないことを示している。「第四の変革計画」は、大多数の国民に変化の展望を与えるものである。
- 人種差別、社会的差別、性別差別に強く反対する。LGBTTI 運動を支援する。
- 新自由主義の下で侵害された女性の人権の尊重を要求する。あらゆる女性差別を非難する。
- 麻薬取引、人身売買、すべてのテロを非難する。
- 人権、諸国民の権利として水への権利を擁護する。
- 奴隷制の過去に受けたカリブ海の島嶼国家の要求を支持する。
- 米国の対キューバ経済・通商・金融封鎖の無条件の停止を要求する。米国は、キューバ包囲政策の一部としてヘルムズ＝バートン法を適用し、その他の敵対的措置とともにその第三条を実施している。
- キューバのグアンタナモ海軍基地のキューバへの返還、マルビナス諸島のアルゼンチンの要求を支持する。現在のアルゼンチン・イギリス政府の合意、2016年9月のフォロドリ・ダンカン合意に反対する。
- ボリビアとチリの対話による連帯的合意による、ボリビアの太平洋への主権の返還を支



持する。

- 先住民、アフリカ系子孫の権利と文化を擁護し、尊重し、保障する。
- カリブ海の脱植民地化、プエルトリコの独立を断固支持する。
- 無法な司法権の犠牲者であるルーラ元大統領の即時の釈放を要求する。
- キューバ、ニカラグア、ベネズエラを悪の枢軸として規定しているアメリカ帝国の政策を拒否する。
- FSP** の中心的目標として、国民が現実の政治的主人公としてわれらがアメリカの主権、独立、民主主義、民族自決権、人権を擁護するため、反帝国主義、反自由主義的団結の推進を擁護する。
- 左翼的、国民的、革新的政権を倒壊させ、その政治的社会的力を破壊しようとする、不安定化戦略と優先的に対決することが、**FSP** の政治目標である。
- FSP** の本質は、引き続き反帝国主義、反新自由主義、すべての左翼的、国民的、革新的政権を強く支持することである。
- 当面の主要な方向として、**FSP** の努力を次の点に集中する：
- FSP** のメンバーの間の努力、協力、連帯を強化する。そのために、マナグアのワーキング・グループが合意した 11 月 1～3 日にキューバのハバナで開催される「民主主義擁護、反新自由主義、反帝連帯会議」を支援する。また **FSP** の米州事務局をメンバー組織間のより効率的な調整、連絡機関にする。
- 相互の連帯行動を多彩に行うために、米国及び米州の右翼による攻撃に対し、左翼の人びと、政府の積極的な連帯を強化する。同時に、現在逮捕されたり、迫害されている左翼の指導者との連帯を優先的な課題にする。
- マナグアのワーキング・グループで合意したように、政治的コミュニケーションの改善、われわれ幹部の養成の課題を優先的な課題とする。**FSP** と共通の価値観、綱領的目標をもっている「われらがアメリカの合意*」を検討し、刷新する。
*2017 年 1 月マナグアでワーキング・グループが作成した政治的綱領案、5 章 24 頁からなる。
- 常に勝利まで。



〈表 1〉

サンパウロ・フォーラム参加の政党が与党となっている国

2019 年 7 月現在 8 カ国/33 カ国中

国名	組織名	政権の中での役割
ボリビア	社会主義運動(MAS)	エボ・モラーレス大統領
	ボリビア共産党	支持
	自由ボリビア運動	支持

キューバ	キューバ共産党	ディアス＝カネル大統領
ニカラグア	サンディニスタ民族解放戦線 (FSLN)	ダニエル・オルテガ大統領
ウルグアイ	拡大戦線(FA)、ウルグアイ共産 党、ウルグアイ社会党参加 他 10 組織	タバレ・バスケス大統領
ベネズエラ	ベネズエラ社会主義統一党 (PSUV) ベネズエラ共産党	ニコラス・マドゥーロ大統領 チャベス政権支持
ドミニカ共和国	ドミニカ解放党(PLD)**	PLD は与党。ダニーロ・メディー ーナ大統領 ただし野党のドミニカ革命党 (PRD 社会民主党)も FSP に加 盟。
メキシコ	MORENA 労働党 民主革命党	ロペス＝オブラドール大統領 (MORENA)
パナマ	民主革命党	ラウレンティノー・コルティーズ 大統領

〈表 2〉

ALBA-TCP 加盟国一覧 11 カ国 2019 年 5 月現在

国名	人口 2018, 千人	GDP 2016 100 万\$	GDP/人 2016 US\$	主要産業	政体
ベネズエラ	32,381	291,376	8,991	石油	共和制
キューバ	11,489	89,689	6,884	観光、サービ ス、ニッケル	共和制
ボリビア	11,216	33,806	3,044	天然ガス、錫	共和制
ニカラグア	6,285	13,230	2,094	コーヒー、牛肉	共和制
ハイチ	11,113	7,647	709	衣類、加工品	共和制
ドミニカ国	74	581	6,819	バナナ、観光	共和制
アンティグア・バーブ ーダ	103	1,460	13,973	観光、建設、軽 工業	立憲君主制
セントビンセント・グ レナディーン諸島	110	910	6,831	観光、バナナ	立憲君主制
セントクリストファ ー・ネービス	56	765	16,050	観光	立憲君主制
グレナダ	108	1,016	9,139	カカオ、ナツメ	立憲君主制

				グ	
スリナム	568	3,278	5,669	金、石油	共和制
合計	73,503	443,758			

資料：世界国勢図会より筆者作成

(2019年8月14日 新藤通弘)